



ROTARY:  
MAKING A  
DIFFERENCE

Rotary

東京臨海ロータリークラブ



クラブ会長ターゲット  
「ロータリアンらしい親睦と奉仕」  
"THE ROTARIAN'S  
FRIENDSHIP AND SERVICES"  
2017-2018年度  
東京臨海ロータリークラブ会長  
栗山 義広



国際ロータリーテーマ 2018年3月28日【第1091回】  
「ロータリー:変化をもたらす」  
"ROTARY:  
MAKING A DIFFERENCE"  
2017-2018年度  
国際ロータリー会長  
イアン H.S. ライズリー  
創 立 : 1994年8月8日  
会 長 : 栗山 義 広  
副 会 長 : 本 多 信 雄  
幹 事 : 高 橋 映 治  
会報委員長 : 飯 塚 憲 貴

## 3月28日の卓話

『こども食堂』  
NPO法人「らいおんはーと」  
理事長 及川信之様

## 3月14日の出席率

会員在籍者数 37名  
会員出席者数 24名  
会員欠席者数 13名  
本日の出席率 68.57%  
前々回訂正出席率 76.47%

## 4月4日の卓話

『春の家族会』  
時間 18:30~20:00  
場所 上野精養軒  
\*4月4日は、お昼の例会はありません。

《第1090回例会報告 2018年3月14日》

司会: 飯塚会員

- 点鐘: 栗山会長
- ロータリーソング斉唱「我等の生業」  
「四つのテスト」  
: ソングリーダー 尾身委員
- 「ロータリーの目的」東京臨海 RCVer. 唱和: 本多副会長
- 来賓・ゲストスピーカー紹介: 栗山会長  
元バギオ基金留学生 クリスティン・ジョイ・ワンゲ  
ット様
- 会長報告: 栗山会長
- ・ 入会式: 坂本秀夫様
- ① 職業分類: 空調設備工事業
- ② 推薦者: 佐久間裕章会員・本多信雄副会長
- ③ カウンセラー: 栗山義広会長
- ④ 所属委員会: クラブ奉仕委員会



**高橋映治幹事**「わんぱく相撲の表紙の人ではありません。新入会員を皆さんにご紹介します。」

**紹介者 佐久間裕章会員**「奉仕に興味があり、紹介に至りました。たくさん勉強することがあるとのことなので、皆さんご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。」

**栗山義広会長**「心より歓迎します。またおめでとうございます。ご自分の事業に誇りを持って何かしらの形で地域に貢献することが大事です。心がけて欲しいことがあります。クラブの例会、その他の行事に出席することです。出席することでほかの会員と親睦と、知識と経験を深め、ほかの会員にもいい影響があります。ロータリーを楽しむことにもつながります。東京臨海ロータリークラブ会員全体が刺激を得、一生の友達になれたことがうれしく思います。今後ともよろしくお願いいたします。」

**入会者 坂本秀夫会員**「こんばんは！私は会長から半年前に代表を任せられました。東京臨海 RC の話をお聞きし、半年間甘えや未熟さを痛感し、この会であれば自分自身を会社や地域

のために、私が成長できる場かと思ひ、入会させていただきました。未熟な部分は多々ありますが、みなさんにご協力いただきながら成長していきたいと思ひますのでよろしくお願いいたします。」



- ・ 一般財団法人比国育英会バギオ基金より、山田晃久会員に第2回感謝状が届きましたので贈呈致します。
- ・ イアン・ライズリーRI 会長が、2018年4月22日のアースデー(地球の日)までに、会員数分の植樹を行うことを全ロータリークラブに呼び掛けています。その一つの方法として、地区から「青梅市梅の里再生事業への支援金」をお願いしたいと、紹介がありました。可能であれば1人1,000円以上のご支援をお願い致します。
- ・ 台湾東部地震支援金を募ります。ご協力お願い致します。
- ・ 当地区中央分区に、新ロータリークラブ・東京丸の内ロータリークラブが、東京お茶の水ロータリークラブをスポンサークラブとして創立し、2018年2月26日にRI加盟承認されました。これで当地区のクラブ数は、70RC(東京59RC、沖縄11RC)です。
- ・ 去る2月20日・21日に開催された地区大会について、吉田ガバナーとホストクラブよりお礼状が届きました。
- ・ 2017-2018年度意義ある業績賞に「東京臨海ロータリークラブ旗争奪 江戸川区学童オレンジボール大会」を申請したところ、国際ロータリー第2580地区からRIへ推薦して下さることに決定したそうです。まだ、RIの審査待ちですが、途中経過をご報告致します。
- ・ 本日はホワイトデーです。毎年女子社員からチョコをもらうのですが、お返しを妻が用意している、という妻自慢です。



■ **幹事報告：高橋幹事**

- 3月の理事役員会議事録を3月9日にメール送信致しました。
- ガバナー月信3月号、バギオだより3月号を会員皆様のメールボックスに配布しました。
- 今年度第4回・次年度第1回合同クラブ協議会を4月18日開催致します。今年度委員会担当の皆様は、「今年度活動実績と次年度への引き継ぎ書」を4月4日までに提出下さい。
- ロータリーフェローズ東京創立50周年記念例会は、4月22日(日)14:00より、如水会館にて開催されます。参加希望の方は、登録料1万円を添えて、本日中に臨海RC事務局宛、お申込下さい。
- 昨年10月30日に開催された東分区分IMの報告書を会員皆様のメールボックスに配布しました。
- 第4回春の地区ワイン同好会が、4月5日(木)18:30より、銀座創作料理『SHARI・シャリ』にて開催されます。会費12,000円。参加希望の方は、3月28日例会までに東京臨海RC事務局宛、ご連絡下さい。
- 次週3月21日(水)は、春分の日の為、当クラブ例会は休会です。次回例会は、3月28日(水)です。



井会員、尾身会員、須藤会員、田村会員、榎本会員、笹本会員、篠塚慎之介会員、佐久間栄一会員、山田会員  
(ご意向)坂本秀夫さん、入会おめでとうございます。佐久間裕章会員

**【20件 48,000円 累計 1,568,000円】**

■ **点鐘・閉会：栗山会長**

## 番外編：&lt;今日のメニュー(3月14日)&gt;



## 今週のメイクアップ(3/6~3/14)

小林健一郎会員(REC Sunrise of Japan)  
佐久間裕章会員(ワールド大阪 REC)

『国際奉仕部門フォーラム』  
総合担当：国際奉仕委員長 入澤昭彦会員■ **委員会報告**■ **クラブ研修リーダー（斉藤委員）**

日本は3ゾーンに別れている。北海道、東北(バングラディッシュ、パキスタン、インドネシアなども含む)が第1ゾーン、関東から(グアム、パラオを含む)が第2ゾーン、大阪から九州までが第3ゾーンとなっています。第3ゾーンは3万人を越えているが、ほかのゾーンは3万人を越えていない。ゾーンに分ける意味はRIの理事を出せるため、規定審議会で発言権が増えるため、そのためにも増強を目指しています。現在から倍に増やせば、日本単独で3ゾーンを獲得できます。3月6日は、栗山会長の誕生日と故高松会員の命日なので絶対忘れない日付です。

■ **国際奉仕委員会（入澤委員長）**

国際奉仕部門フォーラムを本日1:05より、この会場で開催致します。大勢のご参加をお願いします。

■ **ゴルフ幹事（地引ゴルフ幹事）**

RE-5 懇親ゴルフコンペが4月26日(木)東千葉カントリークラブ東コースにて開催されます。奮ってご参加お願い致します。

■ **親睦委員会**

春の家族会を4月4日(水)18:30より上野精養軒にて開催致します。

■ **ロータリー情報担当（佐久間裕章副委員長）**

春の家庭集会在3グループに分かれて4/9(月)4月17(火)、4月23(月)に開催されます。出席の有無をサブリーダーへ3月23日までに連絡して下さい。また、該当グループに出席出来ないときは、他グループに参加してください。

■ **青少年奉仕委員会**

青少年交換派遣学生の募集が始まります。募集期間は2018年4月1日より5月31日の期間で、派遣期間は2019年夏から約1年間です。

■ **佐藤大輔次期幹事**

地区研修協議会第1回実行委員会を3月28日(水)例会前11時から12時に開催致します。会員皆様の出席をお願い致します。

■ **出席報告：榎本委員**

⇒詳細は1頁パナー下に掲載

■ **ニコニコBOX報告：井上会員**

(ご意向)本日の国際奉仕部門フォーラム、宜しくお願い致します。  
：栗山会長、本多副会長、高橋幹事、入澤会員、勝間田会員、飯塚会員、井上会員、斉藤会員、佐藤大輔会員、酒井会員、今



栗山会長「国際奉仕が140ページにあり、親睦に始まり、職業奉仕に目覚め、それが社会奉仕に展開、ついに国際奉仕の花を咲かせます。それだけ社会の共感を得て、力が充実してきたと思うべき、とあります。また、ロータリーの国際奉仕は、国際的発展の賜物です。奉仕の理想の共感者が世界中に広がり、自己の繁栄と公共への奉仕が両立する。最もよく奉仕するものが最も多く報い

られるとありますように、志を同じくする人が手に手を取り合い、国際親善の輪ができています。世界のロータリアンがその善意を交換し、理解を深めることにより、世界平和を打ち立てることが、ロータリー国際奉仕の狙いです。戦争は身に降りかかれば、財産を奪われたり、どうにもならなくなるが、世界奉仕があればそれを未然に防げると思います。そのあたりも深め、本日は学んで行きたいと思えます。」

### 元バギオ基金留学生 クリスティン・ジョイ・ワンゲットさん

「こんにちは。社会人になって感じた国際感覚を、テーマで話すことは難しいです。はじめに私が考える国際感覚を話します。

まず、日本だけのくくりだけでなく、世界のくくりを意識するという。異文化や価値観、考え方の違いを理解し、多角的なものを見方や考え方が出来るのが大事、ということです。

学生から社会人になり感じたことは、学生時代は郷に入れば郷に従うで、目の前の事を見て判断してそのままに従っていた。積極的自分の意見を出せていなかった。社会人になり、国際感覚は営業と同じと思えました。

大事なことは3つあります。違いを受け入れる柔軟性、目の前の出来事や相手への関心や観察力、コミュニケーション力です。つまりは多様性だと思えます。特に相手に関心を持つことがなぜ大事なのかという、自分の意見を持ち、発信するためには、観察力を磨き相手やいろんなかたに興味を持つことが大事だからです。

次は学生時代は国際経済に関心がありませんでしたが、社会人になると経済に関わることに興味を持つようになりました。それはフィリピンに仕送りをしていますが、為替の影響が大きく、レートが高いときに意識しています。旅行会社に働いていますので、いろんな国とビジネスをするので、関心を持たないと仕事に悪い影響があります。例えば、見積もったとおりの予算では収まらなくなり、利益が変わります。

そして今ではたくさんの外国人と出会い、フィリピン人はこれでいいという行動だったが、相手の考え方を理解し、自分に身に着けて、柔軟になってきました。様々な外国人と出会うことにより、相手の国について学ぶだけでなく、自分の国をもっとわかるようになります。ディスカッションするときに自分の国を挙げてから話が始まるので、自分の国を勉強しないと何も始まらないためです。自分と違う人と出会わない限り、人の世界や考えが理解できず、コミュニケーション力が上がらない。ただし出会うたびに相手に対して先入観を持たないことも大事です。

より多くの方と知り合ってください。」

### ① 姉妹クラブについて 酒井会員

台湾に行って、例会に参加した。いろんな催し物を楽しんだ。そうやって親睦を図っている。台北仁愛、フィリピンはサマーキャピタルと姉妹クラブ提携。フィリピンは2年に1回の締結（契約の更改）。台湾は5年に1回。姉妹クラブは、交流活動、周年行事の参加。20周年記念のときは、台湾から30人、フィリピンからは20人参加された。台湾人はまとまっているがフィリピンは迷子など出る。それも面白い経験。スカイツリーに。サマーキャピタルとはバギオ訪問時に交流など。仁愛は親睦旅行などに特別夜間例会を開いてくれる。相互のプロジェクト。ギルバートシーモン小学校の浄化装置40万の補助金は、サマーキャピタルがその紹介をしてくれないと出来なかった。協力してくれることが有難い。前回の訪問で確認してきた姉妹クラブのあり方、バギオグローバル補助金の共有化。補助金、被災地などへの共同支援、プロジェクトをやったほうがいいのか。交流や親睦だけでなく、資金集め、取り組むことの具現化。より力の強いものになるのではないかと思う。

### ② バギオ基金について

臨海 RC には、斉藤副会長がいる。1994年創立時に提唱クラブになったので関係が深い。バギオ基金は1977年に創立。スタートして39回目。来年は40回目。主旨は？何故バギオ？始めたきっかけは何かを理解して、協力してほしい。寄付金合計 3億7000万。417万超の奨学金合計とし出してきた。3万5千ドル。アボン、北ルソンに8割、バギオ、サマーキャピタルに1割ずつ。3000人

越える奨学生を輩出。関わっていて誇りに感じる。RCではマイナーだが、家庭訪問で気づくことが多くある。例えば、5人で4畳半で暮らしている家庭があり、6000ペソ15000円がお父さんの収入。4000ペソ10000円の大学の学費。その半分が奨学金で出る。お兄ちゃんの次に、妹も行く。この援助がどれほどバギオに貢献しているんだと実感した。政府が出来ないことを手伝う。あまりにも貧富の差が激しい。一部の富裕層で成り立つ構造は変わらない。教育という問題に手を打ち、協力したい。当クラブ、655万7000円1.7%。24年。40年。倍ぐらいのシェア。58万8000円。7145000円。国際奉仕。ポリオ、米山奨学。バギオ基金は40年作り上げた。新たな意義を再認識して、新たな形を作ってみて欲しい。

### ③ 米山奨学について 今井委員

概要。ロータリー2300クラブ9万人13億円出し合う。スカラーシップ。海外留学生支援事業。日本独自。740名。14万の学費補助。毎年30名を支援。3000人が所属しているが、6000万円の寄付金を使い支援している。米山奨学の現況を理解してほしい。実践して、奨学生を支援。当クラブは、毎年普通寄付4000円を当てている。特別寄付35万~40万をクラブから支援。コーリー、李章姫さんなど。3~4年に1名は受け入れる。4~5月に特別寄付金を預かりたい。ぜひ皆様の温かいご協力をいただきたいと思う。米山奨学は国際奉仕といえれば国際奉仕ですが、正式には国際奉仕とはいえないが、日本のロータリークラブを作り上げた米山梅吉さんが、アジアの留学生に対してなんとか日本を理解して、日本とアジアの友好関係を築き、交流したいという意味ではじまった基金ですので、そのあたりの主旨を汲み取った活動をして欲しい。ロータリアンとしてのサービスの実践をしてほしい。

### ④ ロータリー財団について 入澤会員

国際ロータリー内の組織。世界でよいことをするための基金。去年100周年。財団の使命は、健康状態を改善、貧困を救済することを通じ、世界理解、親善、平和を推進する。日本の協力団体として、公益財団法人ロータリー日本財団。税制上の優遇措置。確定申告の控除できる寄付。230ドルを毎年の目標。内訳4種類。年次、恒久、ポリオ、ロータリー平和フェロシップ。満遍なく寄付してほしい。地区補助金、グローバル補助金の原資。運用益を恒久。ポリオはわかりやすい。国際基督教大学の奨学生など、平和活動スペシャリストの育成。使い道。フィリピンの浄水設備を寄付、など地区補助金を使える。姉妹クラブ サマーキャピタル。グローバル補助金を申請。パートナーが当クラブ。まだ認められていないが進んでいる。寄付したお金が回りまわって使われる。

### ⑤ 各会員の意見や感想

#### 勝間田会員

私は事業的に国際に関係がなかった。柔軟性、観察力、コミュニケーションが大事だと思った。介護は特に。今後は、国際感覚を養いたい。それからの提案や意見を言いたいと思う。

#### 今井会員

私は先ほど発言したので、一言だけ。インターナショナルサービスの実践がロータリーの目的のひとつである。それに尽きると思います。

#### 田村会員

クラブ奉仕、社会奉仕、国際奉仕という流れがあり、初めて成立するもの。姉妹クラブも2つ。それを通じてバギオ基金の奨学金。米山も奨学金制度。またロータリー財団もある。希望の風が地区の活動である。これは大震災の孤児の奨学金。寄付団体である。それにもとづき、前提で成り立つ。寄付行為はしていかないといけない。行動的に活動していきたい。

#### 笹本会員

世界中を見渡せば、最貧困はいくらでもある。裕福もある。すべてができるわけではない。できることからやりたい。縁があ

るのでバギオに当クラブは協力したい。日系5世がバギオにはいる。それぐらい長い日系人の歴史。まさに縁を実感する。先ずはバギオで奉仕活動。それにつづき、自分の成長に合わせて方向性がかわらと思うが、国際奉仕の手伝いをしたい。

### 山田会員

青少年交換もある。外国人の子弟を受け入れ、日本人を派遣。クラブとして受け入れは大変で、特に受け入れる家庭が。若いメンバーがそろってきた。子供同士の年齢が近いから、ぜひ次回以降協力して欲しい。外国人労働者は働き物が多い。そういうことから面白いネタ、協力のアイデアが出てくると思います。仕事柄外国人と接点が無いので、ある人はぜひ情報共有や職場見学で協力して欲しい。

### 飯塚会員

今年、バギオに、高3の娘、高1の息子の子供2人と行きました。子供たちがどのように実際に海外の人とふれあい、見て、感じて、国際感覚が変わるのか見てみたいという好奇心が強かった。毎日、学校とバイトと家でゴロゴロの繰り返しで、人生の夢や目標など、覇気が感じられなかった彼らに、いかにどうしたら自分たちが恵まれているのかを感じて欲しいかったが、いくら私が見聞きしたことを伝えても、なかなか理解してもらえなかった。しかし今回のバギオ訪問につれていけるタイミングでもあったので、連れて行った経緯だった。

実際帰国してから、かなり彼らの発言も変わり、また態度も劇的に変わりました。特に娘は帰国してから、大学も決まっているので、バイトに集中してかなり稼いでおり、将来何がしたくなるかわからない、世界に出るかもしれないから、とかなり前向きな言葉が出てきた。

台北に行ったときには、このときは私一人でしたが、ホテルのオーナーの蔡さんと名刺交換しました。その際に仕事を聞かれたので、骨董品売買、とわかりやすく答えたら、ホテルの中の骨董品見学に30分案内され、こういったものの情報発信も奉仕になるのではないかと気づかせていただいた。日本人では気づかないものも、海外の方からの何気ない一言がきっかけで、新しい発見になるのも面白いと思った。

とりえずやれることをやっていたら、何かしらの気づきにめぐり合うのかなと思う。

### 井上会員

あらためて、国際感覚に触れ合うことが無いのでほんわかしていた。しかしロータリークラブを通して、勉強になる。今日特にそれを気づかせてくれた。大事なことだと理解して、もっと勉強したい。普通の人には、触れ合いと思っても、国際的感覚にはなかなか触れ合えない。来年は、バギオなど関わって行きたいと思う。

### 須藤会員

栗山会長のリードがいい。今日のフォーラムの進め方も素晴らしい。入澤委員長も素晴らしい進行。臨海RCの発言の内容もすばらしくなった。台北仁愛RC、バギオサマーキャピタルRCを通して、国際感覚を磨いて欲しい。クリスティンさんや李章姫さんもいるし、国際奉仕の理念で進みたい。人との出会いも大切にしたい。他人を理解するということが続けることにより、国際的に理解が深まるということをお話していただいた。

### 佐久間栄一会員

須藤さんに言いたいことをすべて言われたので、話すことはあまり無い。

私も栗山会長がすごいと思う。国際奉仕の本質を語ってくれた。とてもわかり、共感した。会長、あと半年切りましたが頑張ってください。本多さんは来年大変です。立派な会長のあとを継ぐから。今年はバギオに行った。結果、マニラの夜のとりこになった。これも国際奉仕なんだと。

しばらく行ってなかったので、来年は本多さんの後をついていきたい。新入会員は栗山さんの後をついていけば、すばらしいロータリアンになれる。栗山会長を師と仰いでいきましょう。

### 鈴木会員

冒頭の親睦から、結果国際奉仕につながるという言葉が響いた。ミスターバギオの斉藤さんがおり、彼を手伝え、大変誇りに思っている。中国、韓国をみると、政治の文字が消えない。中国では南京大虐殺、韓国では慰安婦問題を始めなんでも、日本の大非難。ひどい。これは政治が影響しているのが大きい。

これから先の国際奉仕は価値が出る。しっかり活動すれば、その国の教科書も変えていける、それがRCの価値であると思う。自分のクラブも大事、バギオをきっかけに、日本を批判する国に奉仕したい。絶対いい花が出る。

### 酒井会員

いろんなことを考える。いろんな奉仕がある。ただ日本は比較的グローバルのようで、グローバルでない。姫軍さんが、20周年のときにいいスピーチをして、私は感極まり泣いた。政府で出来ないことができる気づかせてくれた。日本は特に。日本だけでは、経済が成り立たない。そのために出て行くには、ロータリーをつかっていきたい。バギオは意思であつまっている。臨海RCの姉妹クラブで国際奉仕ができています。臨海RCが提唱して。中韓を特に、国際奉仕を通じ、政府間の関係が変わる草の根運動が大事だと思う。

### 篠塚慎之介会員

まだ入会したてで、RCに入る前は、国際感覚はもちあわせたこともなく、考えたことも無かった。考えていくために理解を深めたい。まずは、身の丈にあった寄付が出来るかと思う。先輩の皆さんについていく。そして海外に、まずはついて出て行きたい。

### 坂本会員

バギオ、米山を、始めてこんなに詳しく聞いた。国際奉仕、海外の教育事業に興味なかった。しかし、いろんな話を聞いて、出来ることを率先してやって行きたい。

### 佐久間裕章会員

母が外国人で、遊びに来る友達も外国人が多かった。物心つくころに留学生を受け入れていた。そしてロータリアンになり、会社でも外国人実習生を受け入れた。自分の中では国際感覚ということをお話することが無かったが、建築業界、20~30年後は現在のままだと成り立たない。それに向けた奉仕の仕方をお話する。臨海RCで出来ることかと感じる。今後も垣根を。グローバルでない、現場でもある。垣根がとれたら、いい。

### 高橋幹事

姉妹クラブがないクラブもある。そういうクラブは国際奉仕のチャンスがない。しかし、臨海RCは2つ。そのうちのひとつはバギオ。うちは恵まれている。

ロータリーは木で例えることができる。根っこはクラブ奉仕で、それは親睦と友愛。大きく張らないと幹が大きくなる。その幹が、職業奉仕で、自分の職業を高潔なものにすること。その次の、枝や葉が、国際奉仕に例えられる。最後の、花や種が青少年奉仕。クリスティンは奨学生から、社会人になり、酒井会員の会社に就職した。またここから芽が出て、新しい木が生まれる。この繰り返し、RCの発展だと思う。

臨海RCはバランスがいい。地域では、少年野球の応援。低学年の野球大会はないので、その場を作って上げ、廻りからはかなり評価されている。臨海RCの会員でいることが誇らしい。

### 斉藤実会員

まず、クリスティンさん、卓話ありがとう。先日2750地区の卓話に行ってもらった。その素晴らしい内容の卓話を私の代わりにしてもらった。ぜひ今後は自信を持ってやってもらいたい。国際教育制度では、学校の先生と教室が足りない。4月から亜細亜大に入学する奨学生がいる。亜細亜大は米山奨学制度の指定大学。彼も頑張れば、4年後米山奨学を受けることができる。現在14名いる。10名が日本で頑張っている。学友会を立ち上げ、6/2ローターアクトの年次大会に協力などしている。

姉妹クラブについては、杉浦委員長が台北仁愛 RC に行って、ラブなスタイルで家族で気楽に楽しくカラオケをやっていたことに感銘を受け、これもいいと気づいたそう。

バギオ基金は、来年 40 周年。予算も立てて、盛大にやれるよう、今から計画したい。これから打ち合わせする。来年留学生を受け入れるか。しかし目標の金額にいかないの、呼べない。みなさん浄財をお願いします。目標 800 万円です。

ロータリー財団については、ロータリーフェロー東京 50 周年。この式典が 4/22 にある。興味あれば参加してみたいかでしょうか。奨学生、国際連盟難民協議会の留学生に行った方もいる。青少年交換も登録。23 回。参加すると、プログラムを勉強できる。国際奉仕の事業に携われると思う。

希望の風、ポリオ。人頭分借金で他クラブより多く寄付している。今年は久しぶりに米山記念館に行ってもいいかなと思う。創立して、クラブでは 1 回しか行ってない。ロータリーの目的の 4 つ目。これがまさに国際奉仕。

バギオ便りを読んでいるか？飯塚会員の息子の空良君の記事が載っている。また娘の優莉菜さんの記事はロータリーの友の 5 月号に載る。こういったいろんな世代からの発信で、草の根運動で少しずついろんな方に興味を持って欲しい。

### 本多副会長

まず、新入会員の方に。いきなり、このフォーラムの開催に参加してもらったが、時間が長くて大変だったと思う。そして内容も、寄付の話。あまりにもありすぎる。RC は、お金のことしかないのかと思ってしまう。正直に言うと、それが去年の私の考えだった。G 引会員や 0 身会員と同じ(笑)。しかし次期私が会長を就任するにあたり、栗山会長、高橋幹事の影響というか、彼らのおかげで、半分小ばかにされていたのが 10 ヶ月前でした。私からは見下ろされている気しかせず、寄付をする行為の意味もわからない。かなり前にバギオに行ったことはあるが、通称バギオ病と呼ばれるものを実感した。つまり簡単に言うと、日本と比べ、あまりにも貧しい家庭を見て帰ると、自分の見たことに感動して、直後は色々やろう、がんばろう、力になろうと、熱が入る。しかし、1 週間も経つと、日常のいつものに戻る。この 10 年はなんとなくこんな感じだった。ぜひ、以前の私のこれを、新入会員に聞いて欲しかった。ぜひ、すべてのことに意味があり、過程ではなく、理由や本質に気づいて、ロータリークラブや自身の奉仕活動を行って欲しいと思う。

次期私が会長を努めるが、色々あるので絞って活動したい。全部を会長をやる単年ではすべてやるのは無理。RC に入会して、はじめて、バギオと台北に連続して参加した。それから、このクラブの信頼の輪に入れた気がした。よくたまの例会に姉妹クラブが参加していたが、彼らは何なのかわからなかった。サマーキャピタル RC、台北仁愛 RC と、実際訪問し、話をして、存在感を感じ、ようやく意味がわかってきた。自分の仕事、ロータリークラブを通じてそうだが、自分自身腑に落とし、意味がわかったほうが活動しやすい。この会場にはいる前の受付に、寄付の箱がたくさん並ぶ。その意味を知りたければ、ぜひ一緒に現地の活動に行くと、理解できると思う。

理解して欲しいのは、ただ自分や、自分の会社が儲けたい、ではなく、現地の方にいい生活をさせてあげたい、という気持ちを持つこと。貧しい人にとって、それを感じる事が出来た。自分がどれだけ幸運で、当たり前だと思っていることに感謝の気持ちが芽生えてくる。その気持ちをもつと、国際奉仕活動の中に入れるようになった気がした。くりかえすが、活動しているのを現地に一緒に行くことが大事。しばらくしたら、私は会長として先頭きって行く立場なので、ぜひ一緒に行きましょう。

### 総評 本多副会長

ロータリークラブの活動で学んだことを活用して、商売に活用してほしい。これを最大限に生かしているのが酒井会員、佐久間裕章会員、杉浦会員。

さらに、いままで飲んだことや、話したことはあってもどんな人かわからなかったが、今回、バギオや台湾と一緒に旅をしたことで、笹本会員、飯塚会員もそれに続く人材なのかと感じた。

齊藤会員とは、会長をやるのが決まってから、最近飲む機会が増えた。そんな中、そこに高橋幹事に本気で怒っている齊藤会員をみるのができ貴重な体験をした。ちなみに、杉浦会員も飲みすぎて、絡んでいたことも付け加えておく。

こんな人たちに便乗したい。家庭、商売、そして異業種団体と、全然違う人と、いい人生を送れるのがロータリークラブなんだと思った。いままでわかっていなくて、先輩たちが色々話してくれたことが馬耳東風だったが、今になって理解できることが多くなり、やっと皆さんと同じ入り口に立てた気がする。

これからは、底を見据える活動を心がける。海外については、労働集約型なので、研修生を利用することに重点を置く。コンプライアンスが厳しくなり、普通のいままでの中小企業では彼らを雇うことができなくなる。今まで以上に、きちんとやれる企業だけが恩恵がある。逆に考えれば、大きいビジネスチャンスがあるということ。他の中小企業が衰退しても、うちはほかと違うと、社員とその家族が安心して暮らしていける企業になる。

見学したり、見聞を広げるのも大事だが、勉強はペーパーだけでなく、今回のバギオや台湾への訪問で気づかせていただいたように、実行に活かし、積極的に海外に協力していきたい。

### 【 バギオ訪問の感想 】

#### 飯塚 空良 (飯塚会員息子) 都立小岩高校 1 年

私は今回始めてフィリピンを訪れました。

今までまったくフィリピンに興味はありませんでしたが、実際に訪れてみると、生活や人、町並みなど様々なことに驚かされ、旅の間飽きることがありませんでした。

中でも一番驚いたのは、あちらの生活でした。

バスの移動中、街を眺めていると日本にあつたら廃墟といわれる建物のような、ぼろぼろの家がそこかしこに見られ、その中でみんな生活していました。私は、「こんななかで生活できるのが信じられない・・・。」と思いました。

また移動中にバスの中の私に向かって、手を振られることが何度もありました。それも笑顔で・・・。物があふれ、不自由が少ない日本の生活に慣れている私から見れば、不自由な生活を送っているはずの彼らはとても生き生きとしていて、その生活とは結びつかないような幸せぶりでした。

「幸せ」って何だろう？このワードがこのたびずっと頭の中から離れませんでした。ずっと日本にいたら、きっとこんなことを考える機会は無かったと思います。お金や物じゃないんだと思います。

今回のバギオ訪問に参加して本当に良かった、心の底から思っています。わたしもこれから彼らに負けたくないくらい、幸せな人生が送れるよう頑張りたいと思います。

